

申22号 2015政策フォーラムの提言実現に向けた申し入れ

要求提出!



提言の実現に向け、議論を巻き起こそう!

1. 各系統で実施した施策を検証し、必要な改善を行った上で新たな施策を実施すること。また、急激な世代交代を踏まえ、各系統における技術継承、技能継承ができる技術フィールドを確保し、現場力の低下を招く効率化を行わず、今後もJR本体が事業運営すること。
2. 駅業務委託は労働基準事項や議定経過を遵守し、エルダー社員の雇用の場を前提に、若年出向に依存する委託を行わないこと。
3. 駅遠隔操作システムの導入駅については、利用者の安全・サービス品質低下を防止するため、制御駅の体制を強化すること。また、今後の駅遠隔操作システム導入にあたっては、安全、サービス品質の向上を実現すること。
4. 駅の利用者と組合員の安全を確保するため深夜、早朝時間帯二人以上の体制を確立すること。
5. 列車内における迷惑行為の見解を明らかにすること。また、支社の法務課などに24時間ヘルプに対応できる機関を設置すること。
6. 女性設備の不備を理由に行われている勤務変更を解消するため、早急に女性設備の拡充を職場の意見を反映させた上でおこなうこと。また、女性社員の配属にあたっては設備を整備した上で配属すること。
7. グループ会社との一体感を図るため、JRの経営責任を果たすべく、労働条件向上、職場環境改善をおこなうこと。
8. パートナー会社社員の転倒傷害事故防止のため、車両センター内の構内通路および洗浄ホームの修繕工事を実施すること。また、パートナー会社が実施する安全衛生委員会、安全パトロール等での指摘事項を本体として真摯に受け止め、必要な設備対策を行うこと。
9. 上野・東京ラインの開業など車両運用が複雑化し、車両検修、車体洗浄、汚物清掃等計画的に作業が行えず、安全、サービス品質が低下していることから、各作業時間を確保するため各線区における予備編成を増備すること。
10. E657系を1編成増備すること。また、2015年3月ダイヤ改正以降、輸送量増大や団体臨時列車の運用など車両運用が複雑化していることから予備編成が生み出せない状況を解消すること。
11. 積雪地帯における除雪作業者の安全と列車運行を確保するため、駅構内に融雪装置を設置すること。
12. 身体にハンディを持つ組合員の負担を軽減するため、職場のバリアフリー化や新たに「通勤補償制度」を確立すること。また、事務職の育成プランを確立し、事務職のフロを職場に配置すること。

働きがいを実感できる職場を創り上げよう!